

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年01月18日(火)

事務事業		収納管理事務		担当課	収税課	担当係	管理係	管理番号	3135	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有 <input type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	
	行計画分野策別名	大項目	200006	みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令 個別計画等	地方税法、国税徴収法、深谷市会計規則				
		中項目	200002	将来に向けた持続可能なまちづくり						
	小項目	200003	行財政運営の推進							
事業概要		市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税及び法人市民税の収納管理事務を行うものである。								
目的 ※何のために		市税の適正な収納管理を行うため。								
対象 ※誰・何を対象に		納税義務者から納付・納入された市税。								
手段 ※どのように		適正な収納・日計処理業務を遂行する。								
成果 ※何を求めるか		正確且つ効率的な税目別徴収額、未納額及び収納率の把握。								
執行体制		■ 市職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	02	総務費	02	徴税费	02	賦課徴収費	収納管理事務費	20,493,112
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の 主な業務		・ 日計処理					・			
		・ 収納実績表					・			
		・ 滞納繰越の調定業務					・			
		・ 口座振替等					・			
		・ 個人県民税の払込み及び異動報告					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	17,470,000	18,831,000	22,102,000	22,016,000	21,124,000	37,032,000
	決算額	16,036,678	16,435,746	20,906,578	20,493,112	0	0
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	825,000	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
人件費	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	16,036,678	16,435,746	20,906,578	19,668,112	21,124,000	37,032,000
	従事職員数(人)	3.15	2.45	2.55	2.70	2.20	2.20
	人件費相当試算 ※1	24,503,850	19,065,900	20,667,750	21,967,200	17,899,200	17,899,200
(総事業費試算)		40,540,528	35,501,646	41,574,328	42,460,312	39,023,200	54,931,200

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	収納管理事務	担当課	収税課	担当係	管理係	管理番号	3135
<div>■ ① 現状のまま継続</div> <div>□ ② 見直して継続</div> <div>□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）</div> <div>□ ④ 目的達成による終了</div> <div>□ ⑤ 廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討</div> <div>□ 成果向上のための改善</div> <div>□ 効率化のための改善</div> <div>□ 事業規模の縮小</div> <div>□ 他の事務事業と統合</div>			評価の内容説明				
			納税者の生活様式の多様化や社会情勢の変化に伴い、コンビニ納付の割合が増加しているとともに、納税手法の多様化により納税者の利便性の向上も図られていると考えられる。 評価指標であるOCR日計処理件数はコンビニ収納率の向上に伴い減少傾向にあるが、引き続き適切な処理を継続し、市民の税務行政に対する信頼の確保に努め、適正に業務を進める。				
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？			評価者	収税課長 笠原 正幸			

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	
--------	--

8. 今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

今後の課題	
-------	--

9. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	OCR日計処理件数														
	<table border="1"> <caption>OCR日計処理件数実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1650</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1650</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>1650</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	平成29年度	1650	平成30年度	1650	平成31年度	1650	令和2年度	1500	令和3年度	10	令和4年度	10		
年度	実績値																
平成29年度	1650																
平成30年度	1650																
平成31年度	1650																
令和2年度	1500																
令和3年度	10																
令和4年度	10																